

明 細 書

発明の名称： 使い捨ておむつ

技術分野

[0001] 本発明は、使い捨ておむつ、特にテープ式の使い捨ておむつに関する。

背景技術

[0002] 特許文献 1 に開示されたテープ式使い捨ておむつは、腹側部材の外装面に設けられたターゲットテープと、背側部分の左右側縁から突出して設けられ、該ターゲットテープに着脱可能なファスニングテープと、該おむつの左右側縁にそって腹側部分の一部から中間部を経て背側部分の前半部まで設けられた左右の弾性材と、該背側部分の後端部中央における吸収体の無い領域に左右方向に設けられたエンドフラップ弾性材と、を備える。

[0003] 該使い捨ておむつは、該左右の弾性材及び該エンドフラップ弾性材の前述した配置のため、着用者の丸みのある臀部にフィットした形状になりにくい。また、該使い捨ておむつは、着用者に装着させるための適切な位置に合わせることが容易でない。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第 5 6 0 3 3 9 1 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 本発明の一つの目的は、前後方向に伸縮する伸縮材の配置の工夫によって着用者へのフィット性に優れた使い捨ておむつを提供することである。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明の一の態様の使い捨ておむつは、吸収体を複数のシートで内包し、着用者の下腹部、股間部及び臀部に夫々対応する前部、中部及び後部を有する本体と、該本体の該後部の左右側縁から外方へ突出した接続部材と、該接続部材の突出端に設けられた、該本体の外装面に着脱可能なファスニング部

と、該本体の前端縁から後端縁までにわたって配置された、一群の糸状の伸縮材で構成される左右の側部伸縮材と、該本体の該前端縁から該後端縁までにわたって且つ該左右の側部伸縮材から中央寄りに離間して配置された、一群の糸状の伸縮材で構成される左右の内側伸縮材と、を備え、該吸収体は、該前部と該中部との境界領域に設けられた左右の第1窪みと、該中部と該後部との境界領域に設けられた左右の第2窪みとの間に、左右の外方膨出部を有し、該左右の側部伸縮材を構成する該一群の糸状の伸縮材は、該本体の後端部においては該後端縁から該左右側縁へ向かって斜め方向に且つ並行して配置され、且つ該本体の該後端部を除く該後部においては該左右側縁に沿って前後方向に且つ並行して配置され、且つ該本体の該後部と該中部との境界領域においては斜め方向に且つ集束して配置され、且つ該本体の該中部においては該左右側縁に沿って該前後方向に且つ並行して配置され、且つ該本体の該前部においては該前端縁まで斜め方向に且つ途中で集束して配置されており、該左の側部伸縮材の前端と該右の側部伸縮材の前端との間の幅、並びに、該左の側部伸縮材の後端と該右の側部伸縮材の後端との間の幅は、該本体の中部における該左の側部伸縮材と該右の側部伸縮材との間の幅よりも狭く、該左右の内側伸縮材を構成する一群の糸状の伸縮材は、該本体の該後部においては該吸収体を囲むように湾曲して且つ並行して配置され、且つ該本体の該後部と該中部との境界領域においては該左右側縁から中央へ向かって斜め方向に且つ集束して配置され、且つ該本体の該中部においては該吸収体の該左右の外方膨出部に重なって該前後方向に且つ並行して配置され、且つ該前部においては該吸収体の左右の側部に重なった後に該前端縁まで斜め方向に且つ途中で集束して配置されており、該左の内側伸縮材の前端と該右の内側伸縮材の前端との間の幅、並びに、該左の内側伸縮材の後端と該右の内側伸縮材の後端との間の幅は、該本体の該中部における該左の内側伸縮材と該右の内側伸縮材との間の幅よりも狭い、ことを特徴とする。

[0007] 本発明の別の態様の使い捨ておむつは、該本体の後端部において該伸縮材の少なくとも一部が交差していてもよい。

[0008] 本発明は、前記の目的又は前記の態様に限定されない。本発明の更なる詳細、特徴、機能、及び／又は効果は、本発明の好ましい例示的な実施形態についての以下の説明によって更に明らかになる。

図面の簡単な説明

[0009] [図1]本発明の第1実施例の使い捨ておむつを、伸縮材が伸縮力を発揮していない状態で示した平面図である。

[図2]図1の使い捨ておむつの――線断面図である。

[図3]使い捨ておむつが着用された状態の正面図である。

[図4]使い捨ておむつが着用された状態の左背面斜視図である。

[図5]本発明の第1実施例の変形例の使い捨ておむつを、伸縮材が伸縮力を発揮していない状態で示した平面図である。

発明を実施するための形態

[0010] 図1ないし図4を参照して、本発明の第1実施例を説明する。図1に示すように、使い捨ておむつ1の本体2は、着用者の下腹部、股間部及び臀部に夫々対応する前部F、中部M及び後部Bを有する。本体2は、前後方向を長手方向とし、左右方向を幅方向とする。

[0011] 使い捨ておむつ1は、吸収体3を複数のシートで内包する本体2と、本体2の後部Bの左右側縁2c、2dから外方へ突出した接続部材4L1、4R1、4L2、4R2と、接続部材4L1、4R1、4L2、4R2の突出端に設けられた、本体2の外装面に着脱可能なファスニング部5と、本体2の前端縁2aから後端縁2bまでにわたって配置された左右の側部伸縮材6L及び6Rと、本体2の前端縁2aから後端縁2bまでにわたって且つ左右の側部伸縮材6L及び6Rから中央寄りに離間して配置された左右の内側伸縮材7L及び7Rと、を備える。

[0012] 吸収体3は、液保持性を有し、着用者から排出された尿などの液体を素早く吸収して、内部に保持する。吸収体3は、例えば、ロールシート状のパルプを解繊した吸水性繊維、及び、粉末状又は顆粒状の高吸水性ポリマー、などを含む原材料により作られる。例えば、これらの原材料が、吸引ドラムの

周面に設置された成型型へ空気搬送され、成型型内に吸引され堆積させて成形される。かかる成形物が吸水紙又は不織布で挟まれ又は包まれることにより、吸収体が製造される。

[0013] 図 1 に示すように、吸収体 3 は、本体 2 の前部 F と中部 M との境界領域に、左右方向中央へ向かう左右の第 1 窪み 8 L 及び 8 R を有し、且つ中部 M と後部 B との境界領域に、左右方向中央へ向かう左右の第 2 窪み 9 L 及び 9 R を有する。吸収体 3 の第 1 窪み 8 L 及び 8 R の最内部、並びに、第 2 窪み 9 L 及び 9 R の最内部は、後述する左右の起立性シート 1 4 L 及び 1 4 R の内側端 1 4 L a 及び 1 4 R a よりも左右方向中央寄りにある。

[0014] 中部 M における吸収体 3 は、左の第 1 窪み 8 L と第 2 窪み 9 L との間に、外方へ大きく膨出した左の膨出部 3 L を有し、且つ右の第 1 窪み 8 R と第 2 窪み 9 R との間に、外方へ大きく膨出した右の膨出部 3 R を有する。使い捨ておむつ 1 は、吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R を着用者の大腿部に沿って配置させることにより、中部 M における吸収力を増大させて排泄物の漏れを防止できる。

[0015] 吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R の両根元間の幅を着用者の股間部の幅に適切に対応させることにより、使い捨ておむつ 1 は、着用者の股間部へのフィット性が高くなる。吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R の両根元間の幅は、左の第 1 窪み 8 L 及び第 2 窪み 9 L の両最内部を結んだ線と、右の第 1 窪み 8 R 及び第 2 窪み 9 R の両最内部を結んだ線との間の距離である。吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R の両根元間の幅は、使い捨ておむつ 1 のサイズに応じて適切に選択され、例えば、80 mm から 120 mm の間で適宜選択されてもよい。

[0016] 使い捨ておむつ 1 の本体 2 は、前後方向に長い略長方形であって、中部 M における左右方向の幅が狭くなっている。本体 2 の前部 F は、左右側縁 2 c 及び 2 d から吸収体 3 の左右の第 1 窪み 8 L 及び 8 R へ向かう、左右の切込み 1 0 L 及び 1 0 R が設けられている。本体 2 の中部 M を着用者の股間部に配置し、吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R を着用者の大腿部にフィット

させたとき、本体 2 の前部 F も、左右の切込み 1 0 L 及び 1 0 R により、着用者の下腹部にフィットする。上記に限られず、左右の切込み 1 0 L 及び 1 0 R を設けずに、本体 2 の前部 F の前端を隅切りしてもよい。

[0017] 図 1 又は図 2 に示すように、本体 2 の複数のシートは、トップシート 1 1 と、ボトムシート 1 2 と、外装シート 1 3 と、左右の起立性シート 1 4 L 及び 1 4 R と、を含む。本体 2 の前後方向の長さ、すなわち本体 2 の前端縁 2 a から後端縁 2 b までの距離は、シート 1 1, 1 2, 1 3, 1 4 L 及び 1 4 R の前後方向の長さと同じである。本体 2 の左右方向の幅、すなわち本体 2 の左側縁 2 c から右側縁 2 d までの距離は、ボトムシート 1 2 及び外装シート 1 3 の左右方向の幅と同じである。

[0018] トップシート 1 1 は、本体 2 の着用者対向面の中央部を構成する。トップシート 1 1 は、吸収体 3 の上面全体を覆っており、両者は接着剤などで固定されている。トップシート 1 1 は、透液性を有している。トップシート 1 1 は、着用者から排出された尿などの液体を透過させ、吸収体 3 内へ移動させることができる。

[0019] トップシート 1 1 は、透液性の不織布、例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、レーヨン等の化学繊維、又は綿、セルロース等の天然繊維、又はこれらの組合せからなる不織布で作られる。トップシート 1 1 は、上記の不織布に限られず、透液性を有する適切な材料、例えば、有孔フィルム、ティッシュ、又はそれらを適宜つなぎ合わせたシートで作られてもよい。

[0020] ボトムシート 1 2 は、吸収体 3 の下面全体を覆っており、両者は接着剤などで固定されている。ボトムシート 1 2 は、不透液性を有している。ボトムシート 1 2 は、トップシート 1 1 を透過した排泄物や、吸収体 3 によって吸収又は保持されなかった排泄物が、外部へ漏れるのを防止する。

[0021] ボトムシート 1 2 は、例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル等の不透液性のフィルムや、不透液性の不織布で作られる。ボトムシート 1 2 は、上記のフィルム又は不織布に限られず、不透液性を有する適切な

材料、例えば、不透液性を有する伸縮材、防水性接着剤を塗布した材料、それらの積層体、又はそれらを適宜つなぎ合わせたシートで作られてもよい。

[0022] 外装シート１３は、本体２の外装面を構成する。外装シート１３は、ボトムシート１２の下に配置され、両者は接着剤などで固定されている。外装シート１３は、例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、レーヨン等の化学繊維、又は綿、セルロース等の天然繊維、又はこれらの組合せからなる不織布で作られる。外装シート１３はボトムシート１２より不透液性が弱くてもよい。

[0023] 左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒは、本体２の着用者対向面の左側部及び右側部を構成する。左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒは、トップシート１１の前後端部及び左側縁並びにボトムシート１２の上に、接着剤などで固定されている。左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒのうち固定されていない部分は、起立部を形成する。

[0024] 左右の起立用伸縮材１５Ｌ及び１５Ｒは、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒの内側端１４Ｌａ及び内側端１４Ｒａに沿って、前後方向に配置される。左右の起立用伸縮材１５Ｌ及び１５Ｒは、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒの該２層部分の間で、伸縮可能に接合されている。左右の起立用伸縮材１５Ｌ及び１５Ｒが前後方向に収縮することによって、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒの起立部は、ギャザーを形成されると共にトップシート１１から起き上がる。使い捨ておむつ１の着用時、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒの起立部が、着用者に密着して、排泄物が外部に漏れるのを防止する。

[0025] 図１又は図２に示すように、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒが固定されたトップシート１１の左右側縁と、吸収体３の左右側縁との間には、大きな間隙が設けられている。これにより、左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒの起立部とトップシート１１との間には、大きく立体的な排泄物収容空間が形成される。

[0026] 左右の起立性シート１４Ｌ及び１４Ｒは、例えば、不透液性又は撥水性を

有する不織布で作られ、また、ボトムシート 1 2 又は外装シート 1 3 と同じ原材料で作られてもよい。

[0027] 図 1 又は図 2 に示すように、接続部材 4 L 1, 4 R 1, 4 L 2, 4 R 2 は、本体 2 の後部 B の左右側縁 2 c, 2 d から突出している。左右の第 1 接続部材 4 L 1, 4 R 1 は、本体 2 の後端部の左右側縁 2 c, 2 d 付近で、左右の起立性シート 1 4 L, 1 4 R とボトムシート 1 2 との間に接着剤や熱溶着などによって固定されている。左右の第 2 接続部材 4 L 2, 4 R 2 は、左右の第 1 接続部材 4 L 1, 4 R 1 から前方に離間した位置に、接着剤などで固定される。

[0028] 接続部材 4 L 1, 4 R 1, 4 L 2, 4 R 2 の各突出端には、本体 2 の前部 F の外装面を構成する外装シート 1 3 に着脱可能なファスニング部 5 が設けられている。第 1 接続部材 4 L 1, 4 R 1 及び第 2 接続部材 4 L 2, 4 R 2 は、前後方向に離間している。そのため、図 3 に示すように、使い捨ておむつ 1 の着用時、各ファスニング部 5 を本体 2 の前部 F の外装面に掛止するとき、掛止する方向及び位置を広範囲に調節できる。これにより使い捨ておむつ 1 は着用者へのフィット性およびサイズ対応性が高い。

[0029] 接続部材 4 L 1, 4 R 1, 4 L 2, 4 R 2 は、例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、レーヨン等の化学繊維、又は綿、セルロース等の天然繊維、又はこれらの組合せからなる不織布で作られる。

[0030] 本発明の接続部材は、前述した不織布に限られず、例えば、接続部材の一部又は全部が伸縮材で作られてもよい。接続部材の一部又は全部が伸縮材で作られると、使い捨ておむつ 1 の着用時に接続部材 4 L 1, 4 R 1, 4 L 2, 4 R 2 の伸縮性によって本体 2 の前部 F 及び後部 B を適宜調整して固定できる。そのため、使い捨ておむつ 1 は着用者へのフィット性及びサイズ対応性がさらに向上する。

[0031] ファスニング部 5 は、例えば、本体 2 の外装面を構成する不織布などに着脱可能に掛止できるフック小片が集合した面ファスナーを使用できる。また、粘着性を有する粘着テープをファスニング部 5 に使用してもよい。

- [0032] 本体2の前部Fの外装シート13、または、ボトムシート12の外装面には、ファスニング部5を掛止する位置を決めるのを補助する目印が、印刷されていてもよい。また、前部Fの外装シート13上に、ファスニング部5の位置決めを補助する目印が表示されたターゲットテープが、固定されてもよい。例えば、ファスニング部5が面ファスナーである場合は、ターゲットテープが面ファスナーを着脱しやすいループ状部を有してもよい。
- [0033] 図1及び図2に示すように、左右の側部伸縮材6L及び6Rは、複数の糸状の伸縮材が集まった一群の伸縮材で構成される。左右の側部伸縮材6L及び6Rは、外装シート13とボトムシート12との間で、接着剤や熱溶着などにより伸縮可能に接合されている。上記に限られず、外装シートを2枚設けて、2枚の外装シート間に側部伸縮材を設けてこれらと接合してもよい。また、外装シートを備えずに、吸収体とボトムシートとの間に側部伸縮材を設けてこれらと接合してもよい。
- [0034] 図1に示すように、左右の側部伸縮材6L及び6Rは、本体2の前端縁2aから後端縁2bまでにわたって配置されている。左の側部伸縮材6Lの前端と右の側部伸縮材6Rの前端との間の幅、並びに、左の側部伸縮材6Lの後端と右の側部伸縮材6Rの後端との間の幅は、本体2の中部Mにおける左の側部伸縮材6Lと右の側部伸縮材6Rとの間の幅よりも狭い。
- [0035] 詳細には、左右の側部伸縮材6L及び6Rを構成する一群の糸状の伸縮材の前端及び後端は、本体2の前端縁2a及び後端縁2bにおける左右の起立性シート14L及び14Rの各内側縁14La及び14Raの近傍に位置する。該左右の側部伸縮材6L及び6Rを構成する該一群の糸状の伸縮材は、左右の第1接続部材4L1及び4R1が設けられた該本体2の後端部においては、該後端縁2bから該左右側縁2c及び2dへ向かって斜め方向に且つ並行して配置され、且つ該本体2の該後端部を除く該後部Bにおいては、該左右側縁2c及び2dに沿って前後方向に且つ並行して配置され、且つ該本体2の該後部Bと該中部Mとの境界領域においては、斜め方向に且つ集束して配置され、且つ該本体2の該中部Mにおいては、該左右側縁2c及び2d

に沿って該前後方向に且つ並行して配置され、且つ該本体 2 の該前部 F においては、該前端縁 2 a まで斜め方向に且つ途中で集束して配置されている。

[0036] 図 1 及び図 2 に示すように、左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R は、複数の糸状の伸縮材が集まった一群の伸縮材で構成される。左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R は、外装シート 1 3 とボトムシート 1 2 との間で、接着剤や熱溶着などにより伸縮可能に接合されている。上記に限られず、外装シートを 2 枚設けて、2 枚の外装シート間に内側伸縮材を設けてこれらと接合してもよい。また、外装シートを備えずに、吸収体とボトムシートとの間に内側伸縮材を設けてこれらと接合してもよい。

[0037] 図 1 に示すように、左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R は、本体 2 の前端縁 2 a から後端縁 2 b までにわたって、左右の側部伸縮材 6 L 及び 6 R から左右方向中央寄りに離間して配置されている。左の内側伸縮材 7 L の後端と右の内側伸縮材 7 R の後端との間の幅は、本体 2 の中部 M における左の内側伸縮材 7 L と右の内側伸縮材 7 R との間の幅よりも狭い。左の内側伸縮材 7 L の前端と右の内側伸縮材 7 R の前端との間の幅は、本体 2 の中部 M における左の内側伸縮材 7 L と右の内側伸縮材 7 R との間の幅よりも狭い。

[0038] 詳細には、左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R を構成する該一群の糸状の伸縮材の前端及び後端は、本体 2 の前端縁 2 a 及び後端縁 2 b の中心付近に位置する。該左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R を構成する一群の糸状の伸縮材は、該本体 2 の該後部 B においては、該吸収体 3 を囲むように湾曲して且つ並行して配置され、且つ該本体 2 の該後部 B と該中部 M との境界領域においては、中央へ向かって斜め方向に且つ集束して配置され、且つ該本体 2 の該中部 M においては、該吸収体 3 の該左右の外方膨出部 3 L 及び 3 R に重なって該前後方向に且つ並行して配置され、且つ該前部 F においては、該吸収体 3 の左右の側部に重なった後に該前端縁 2 a まで斜め方向に且つ途中で集束して配置されている。

[0039] 側部伸縮材 6 L 及び 6 R、内側伸縮材 7 L 及び 7 R、並びに、起立用伸縮材 1 4 L 及び 1 4 R は、例えば、天然ゴム、ポリウレタン樹脂、オレフィン

系エラストマーなどの伸縮可能な材料で作られる。起立用伸縮材 1 4 L 及び 1 4 R は、複数の糸状の伸縮材に限られず、1 又は 2 以上の帯状又はシート状の伸縮材でもよい。

[0040] 図 4 に示すように、使い捨ておむつ 1 の着用時、本体 2 の後部 B のうちの左右の側部伸縮材 6 L 及び 6 R が配置された部分は、着用者の臀部の周囲に沿って湾曲して密着し、更に、本体 2 の後部のうちの左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R が配置された部分は、着用者の隆起した臀部に沿って湾曲して密着する。そのため、本体 2 の後部 B を着用者の臀部に適切に位置合わせすることが容易であり、使い捨ておむつ 1 は着用者へのフィット性が向上する。

[0041] 図 1 に示すように、該左右の側部伸縮材 6 L 及び 6 R を構成する該一群の糸状の伸縮材は、左右の第 1 接続部材 4 L 1 及び 4 R 1 が設けられた該本体 2 の後端部においては、該後端縁 2 b から該左右側縁 2 c 及び 2 d へ向かって斜め方向に且つ並行して配置される。そのため、図 3 に示すように、使い捨ておむつ 1 の着用時、第 1 接続部材 4 L 1, 4 R 1 を、着用者の腸骨の上の位置で、本体 2 の前部 F の外装面に斜め下方に配置し且つ掛止するのが容易である。

[0042] 更に、図 1 に示すように、該左右の側部伸縮材 6 L 及び 6 R を構成する該一群の糸状の伸縮材、及び該左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R を構成する該一群の糸状の伸縮材は、該本体 2 の該後部 B と該中部 M との境界領域においては、中央へ向かって斜め方向に且つ集束して配置される。そのため、第 2 接続部材 4 L 2, 4 R 2 を、着用者の左右の太腿の付け根に沿った位置で、本体 2 の外装面に斜め下方に配置し且つ掛止するのが容易である。したがって、使い捨ておむつ 1 は、ウエスト回りのサイズ調整ができると共に、足回りのサイズ調整もできるので、着用時のフィット性が高い。

[0043] 更に、図 1 に示すように、使い捨ておむつ 1 は、該本体 2 の該中部 M においては、吸収体 3 の左右の膨出部 3 L 及び 3 R が着用者の大腿部に沿って配置されると共に、該左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R を構成する該一群の糸状の伸縮材が該左右の外方膨出部 3 L 及び 3 R に重なって該前後方向に且つ並

行して配置される。そのため、左右の膨出部 3 L 及び 3 R が、該左右の内側伸縮材 7 L 及び 7 R に支持されながら、中部 M における吸収力を増大させ、排泄物の漏れを防止できる。

[0044] 次に、図 5 に示すように、使い捨ておむつ 1 6 は、本発明の第 1 実施例である使い捨ておむつ 1 の変形例である。使い捨ておむつ 1 6 は、本体 2 の後部 B において、左右の内側伸縮材 1 7 L 及び 1 7 R の全部が交差している。本体 2 の前部 F においても、左右の内側伸縮材 1 7 L 及び 1 7 R の一部が交差している。本体 2 の後部 B において左右の側部伸縮材 1 7 L 及び 1 7 R が交差している場合、左右の側部伸縮材 1 7 L 及び 1 7 R が斜めに延びる長さが大きくなるので、着用者のウエスト回りの収縮力が増大し、着用者へのフィット性が向上する。

[0045] 本発明の使い捨ておむつは、前述した実施例には限定されず、例えば、該実施例から理解される変形例、及び、本発明の本質を変更しない変形例を含む。

[0046] 例えば、本発明及び前述した実施例の使い捨ておむつ 1、1 6 は、左右の起立性シート及び起立用伸縮材を備えずに、代わりに左右の外装シートを備えてもよい。かかる使い捨ておむつが適切であるのは、例えば、起立ギャザ一部付き吸収パッドと一緒に使用する場合、尿量の少ない着用者に使用する場合、又は、構造を簡易にして安価に製造したい場合である。

[0047] また、本発明及び前述した各実施例の使い捨ておむつは、本体の前部及び／又は後端部において、左右の側部伸縮材及び／又は左右の内側伸縮材が伸縮力を生じない状態にされてもよい。これによりおむつの腰回り開口部の収縮が防止され、見栄えが損なわれず、おむつの装着が容易になる。該伸縮材の所望の部分伸縮力の無い状態にするためには、例えば、該伸縮材の当該部分を、本体に接合しない、カッターで細かく破断する、又は細かく熱溶断することにより達成できる。

[0048] また、本発明の使い捨ておむつの本体の複数のシートは、前述した実施例のものに限られない。例えば、トップシートの左右方向の幅が本体の左右方

向の幅と同じであり、トップシートの左右側部の上に、左右の起立性シート又は左右の外装シートが設けられ、且つ接着剤などで固定されてもよい。また別の例では、複数のシートの夫々の前後方向の長さ又は左右方向の幅は同じでなくてもよい。特に、ボトムシートの左右幅が外装シートの左右幅より小さくてもよい。

[0049] また、本発明及び前述した各実施例の使い捨ておむつは、外装シートを備えず、ボトムシートが外装シートを兼用してもよい。この場合、ボトムシートは、不透液性を有すると共に、ファスニング部を係止できる不織布などからなることが好適である。また、ボトムシートの外装面には、ファスニング部を掛止する位置を決めるのを補助する目印が印刷されていてもよく、又は、ファスニング部の位置決めを補助する目印が表示されたターゲットテープが固定されてもよい。

[0050] さらに、本発明の使い捨ておむつにおいては、重ねられた複数枚の不織布製シートが該本体の外装面を構成してもよい。例えば、不織布からなる外装シートが2枚重なって配置され、互いに接着剤で固定されてもよい。該2つの外装シートの間に側部伸縮材及び／又は内側伸縮材が配置されてもよい。不織布からなる外装シートが2枚重ねられると、本体の外装面の凹凸が大きくなるので、該外装面にファスニング部が掛止しやすい。この結果、ファスニング部の着脱面としてループ状部を設ける必要がないので、製造のコストと手間を減らせる。

産業上の利用可能性

[0051] 本発明は、フィット性に優れたテープ式使い捨ておむつを提供すること、特に、工業的に連続的に製造するテープ式の使い捨ておむつを提供することを利用することができる。

符号の説明

[0052] 1, 16・・・使い捨ておむつ；
2・・・本体；
3・・・吸収体；

3 L 及び 3 R . . . 左右の膨出部 ;
4 L 1 , 4 R 1 , 4 L 2 , 4 R 2 . . . 接続部材 ;
5 . . . ファスニング部 ;
6 L 及び 6 R . . . 左右の側部伸縮材 ;
7 L 及び 7 R , 1 7 L 及び 1 7 R . . . 左右の内側伸縮材 ;
8 L 及び 8 R . . . 左右の第 1 窪み ;
9 L 及び 9 R . . . 左右の第 2 窪み ;
1 0 L 及び 1 0 R . . . 左右の切込み ;
1 1 . . . トップシート ;
1 2 . . . ボトムシート ;
1 3 . . . 外装シート ;
1 4 L 及び 1 4 R . . . 左右の起立性シート ;
1 5 L 及び 1 5 R . . . 左右の起立用伸縮材 ;
F . . . 本体の前部 ;
M . . . 本体の中部 ; 及び、
B . . . 本体の後部